



# 一次救命処置の流れ

2010年版日本救急蘇生ガイドライン準拠

反応なし

大声で叫び応援を呼ぶ  
119番通報・AEDの依頼

呼吸あり

普段通りの呼吸がある

気道確保  
応援・救急隊を持つ  
回復体位を考慮

呼吸なし

※死戦期呼吸 (P.2参照) は心停止として  
取り扱う

**心肺蘇生法**

大だちに胸骨圧迫を始める

- \* 強く! (成人は少なくとも5cm、小児は胸の厚さの約1/3)
- \* 速く! (少なくとも100回/分)
- \* 絶え間なく! (中断を最小にする)

大人工呼吸

- \* 人工呼吸ができないかためらう場合は胸骨圧迫のみ続ける

大心肺蘇生 (胸骨圧迫30回+人工呼吸2回) を繰り返す

AED装着

AEDの電源を入れて  
音声ガイドの指示に従う

「ショックが必要」

「ショックは不要」

その後直ちに胸骨圧迫  
から心肺蘇生法を再開

胸骨圧迫のみ  
心肺蘇生法を再開

大強く、速く、絶え間ない胸骨圧迫を!!!

※救急隊に引き継ぐまで、または傷病者に呼吸や目的のある仕草が  
出るまで心肺蘇生法を続ける

